

An aerial photograph of a river winding through a dense, lush green forest. The river is a vibrant blue, contrasting with the various shades of green in the trees. The perspective is from directly above, looking down at the water and the surrounding forest canopy.

SUSTAINABILITY REPORT

2024

パーパス

私たちの社会的存在意義 Our Purpose



■ ビジョン

フロアから地球の未来に貢献する

企業には、成し遂げたい目標や目指す方向性、社会に対する存在意義があります。

これらを明文化し、社内で共有することは、社内外とのコミュニケーションにおいて非常に重要であると考えています。

SDGsをきっかけに、企業に対する社会的責任のありかたが近年急速に変化しています。この変化に対応するべく、

昨年度株式会社オカベは経営理念を見直し、新たなビジョンを「**フロアから地球の未来に貢献する**」と設定しました。

フロアをリノベーションし、メンテナンスすることで、快適な屋内環境の提供にとどまらず、作業や利用者の健康、地球環境、そして地球の未来に貢献したいと考えています。

■ ミッション

先進的なソリューションでフロアに革新を

昨今、社会は目まぐるしく変化しています。技術の進歩も目覚ましく、様々な分野において新しい技術が生まれ、私たちの暮らしも日々変化しています。世界に対してチャンネルを持つ私たちの強みを最大限に生かし、最先端のソリューションを積極的に導入することで、フロアに革新をもたらしたいと考えています。

■ バリュー

誠実 **Honesty** すべての人を尊重し、何ごとにもフェアに、そして真摯に取り組む

挑戦 **Challenge** 好奇心と情熱を忘れず、新たな道を恐れない

楽しむ! **Enjoy** すべてのことを全力で楽しむ

ビジョンやミッションを達成するための行動指針や行動基準、それがバリューです。

誠実であること。挑戦し続けること。そして何より楽しむことを大切に、掲げたビジョン・ミッションを成し遂げることをお約束し、私たち株式会社オカベのパーパスとします。

私たちのビジョン 2030 Our Vision 2030

フロアリノベーションで革新と創造を *Renovation* → *Innovation & Creation*

SDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SDGsに積極的に取り組む私たちは、2030年までに実現したい具体的な数値目標を設定し、これらを達成することで到達する自分たちのあるべき理想の姿をビジョン2030として策定しました。

私たちは、フロアリノベーションを推進することで、フロアメンテナンスに革新と新しい価値を創り出します。

※具体的な数値目標は本冊子の最終ページに記載しております。



トップメッセージ Top Message



私たちは、よりサステナブルな未来への移行が求められる、社会の本質的な変化に直面しています。温室効果ガスの排出を削減するなど、気候変動の影響を抑制することをはじめとした急速な変化の方向性が示され、様々な困難を伴いながらも多くの変化への対応を求められてきました。コロナウィルスの世界的な大流行はすべての人々に影響を与え、様々なスタンダードを一気に変化させました。

“In the middle of difficulty lies opportunity.”

「困難のうちにチャンスがある」

これは、ノーベル物理学賞を受賞したことで知られるアインシュタインの言葉です。

コロナウィルスのパンデミック以降、この3年間は弊社にとって厳しい環境ではありましたが、変化を一気に加速させ、今後より一層の持続的な成長を目指す礎を築く、よい機会にもなりました。2021年には今後の成長に備えて基幹システムを一新しました。また、今後よりECプラットフォームの成長が見込めることから、BtoC ビジネスはオンライン販売に集約し、すべて直販へと切り替えました。2022年はBtoBのオンライン受注システムを導入し、顧客の利便性向上と社内の効率化を図りました。そして2023年には社内にSDGs推進プロジェクトチームを立ち上げ、SDGs経営に本格的に取り組み始めました。これらの社外から見えにくい内部の変化は、株式会社オカベをより強固な体制へと変えました。

また、株式会社オカベは安定した企業であり、長期的にサステナブルな戦略で正しい道を歩んでいます。創業地である富山県南砺市を主体とした創業当時のビルメンテナンス事業は、これまで以上に密接に地域のお客様と連携し、ますますの広がりを見せています。2009年から取り組み始めたBona日本代理店としての活動も、コロナウィルスのパンデミックの影響で一時期落ち込みはしたものの、現在では力強く回復しており、将来の成長に向けて非常に良い条件が整っていると確信しています。

より良い明日に向けて、今後のサステナブルな戦略をより明確に打ち出すためにビジョン2030を策定しました。業界のサステナブルな変革をリードできるよう、“Do Better & Be Better”で取り組んでいきます。

株式会社オカベについて This is OKABE

株式会社オカベは、1974年に南砺市(旧:西砺波郡福光町)にて創業しました。
現在の南砺市や小矢部市、高岡市、黒部市などを中心にビルメンテナンス業を展開。2003年には首都圏営業所を開設しました。2004年からは海外から清掃資機材の直輸入を開始。2009年からはフローリングメンテナンスとリノベーションで世界トップシェアを誇るスウェーデンBona社の日本輸入元として、日本全国にBona社製品の販売を始めました。
そして2024年、株式会社オカベは創業50年を迎えます。



Bona 社について This is BONA

1919年にスウェーデンで生まれたBonaは、サステナビリティを重視したファミリーカンパニーです。世界各地に拠点をもち、フロアの施工、リノベーション、メンテナンスのための製品やシステムを提供しています。Bonaは100年以上に及ぶ長い期間、生涯にわたって使用できる美しいフロアをつくるためのソリューションを提供することに情熱を注いできました。

持続可能な世界へのBonaの最も重要な貢献は、フロアをリノベーションすることに焦点を当てたライフサイクルベースのビジネスモデルから始まります。サステナブルな製品やシステムを開発することで、バリューチェーン全体に影響を与え、変化を促しています。Bonaが提供するサステナブルな製品やシステムは、政府や法律で定められたガイドラインをクリアするのはもちろんのこと、将来を見据え常に現状の基準を大幅に上回ることを目指しています。

フローリング WOOD FLOORS



Bonaダストフリーサンディングシステムによってフローリングの傷んだ表面を0.8mm程度削り、再度塗装して仕上げることでまるで新品のように生まれ変わります。



Bonaは環境への悪影響を最小限に抑えるという長期的な目標に基づき、サステナブルな成長を実現するための革新的な技術を継続的に開発しています。Bonaにとってのサステナビリティとは化学製品の成分、環境や気候に影響を与える排出物、Bona製品のライフサイクル、自然の資源を保護する能力などを常に評価することです。

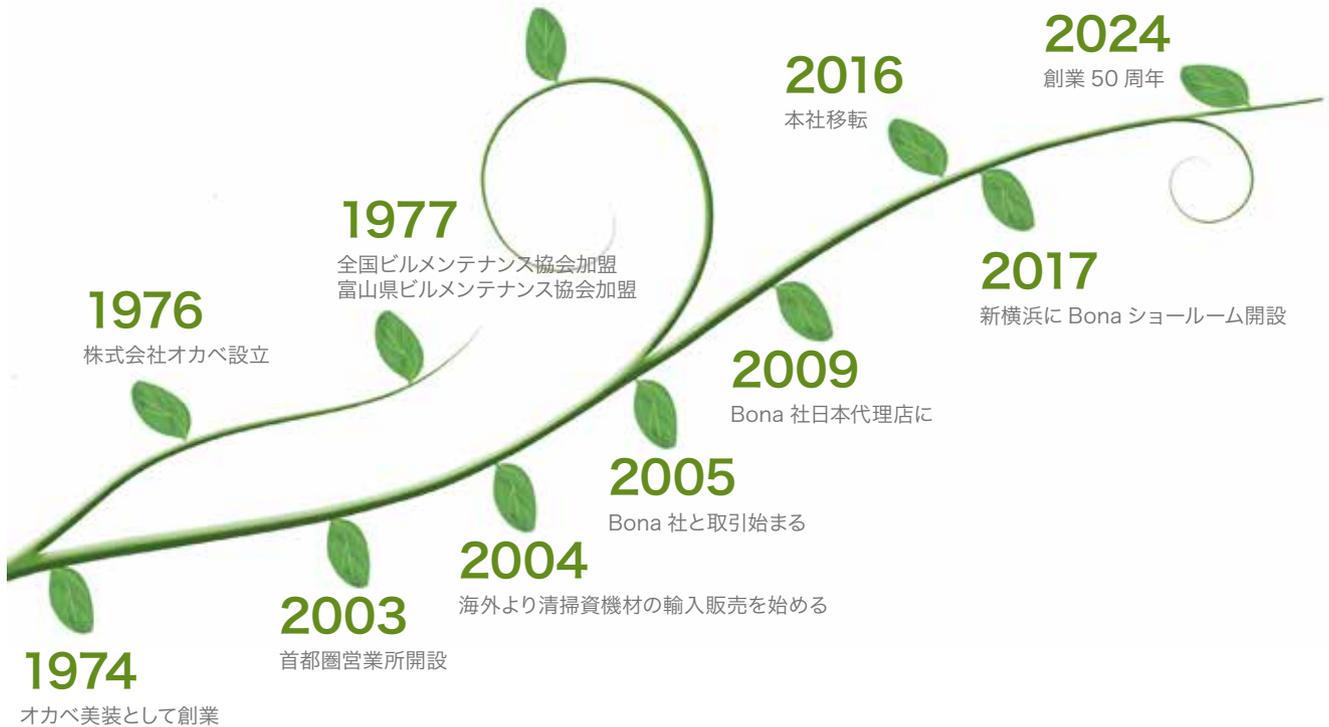
Bonaのサステナビリティへの配慮は、環境とエンドユーザーの健康面だけにとどまらず、作業者の健康や作業環境など、私たちと関わるすべての人々に及んでいます。製品に含まれる成分の安全性や環境面への影響を常に最大限考慮し、リスク分析と影響評価を通じて安全、健康、環境を常に評価しなければならないことがBonaのSHE(安全・健康・環境)ポリシーに明記されています。Bonaのサステナビリティへの取り組みは、技術開発、イノベーション、文化的変化の影響を受けながら常に新しい道を歩む旅でもあります。

弾性床材 (レジリエントフロア) RESILIENT FLOORS



Bona レジリエントソリューションは、古い弾性床材に新しい命を吹き込み、そのルックスをかんたんに一新します。容易なメンテナンスで長期間美観を維持できる衛生的なフロアを実現できます。

株式会社オカベの歩み Our History



株式会社オカベは1974年に創業し、ビルメンテナンス業を中心に事業を展開してきました。

そして、現在の核となっている事業は、Bona社製品の輸入販売です。Bona社との最初の出会いは、ハワイで開催された全米フローリング協会主催の展示会でした。当時は自社のフローリングメンテナンスサービスの品質向上のため、より耐久性にすぐれた水性塗料を探しており、現在のような輸入販売は考えていませんでした。

製品を使い始めてから、Bona社が業界トップの企業であると知り、ホコリを出さずにフローリングをサンディングするBonaダストフリーサンディングシステムの革新性に惹かれ、一気に自社のフローリングメンテナンスサービスがBona一色へ変わっていきました。そして、縁あって2009年から正式に日本代理店となり、全国への販売を開始します。

まさに「一期一会」。この素敵な出会いの輪をもっと広げ、さらなる社会貢献を目指していきたいと考えています。

私たちの主な社会貢献活動 Our CSR

2020年は世界がコロナ禍という未曾有の事態に直面した年でした。株式会社オカベが日本総代理店を務めるグローバル企業 Bona 社（本社スウェーデン）は世界に広がるネットワークを駆使し、各国の代理店に向けてマスクの供給を始めました。日本国内で品薄が続いている状況下であったため、弊社もたくさんのお客様にマスクをお届けし、多くの喜びの声をいただきました。

このような大変な状況下にこそ少しでも地元貢献したい、そして日頃の感謝を伝えたいという思いから、本社の所在地である南砺市に、マスク1万枚を寄贈しました。



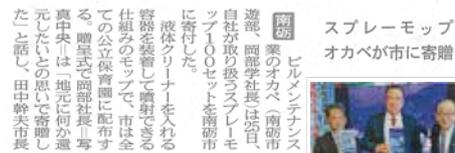
北日本新聞 2020年5月22日掲載



また、富山県立となみ総合支援学校において、就業支援としてビルメンテナンス業務の講師を派遣しました。

一般社団法人富山県ビルメンテナンス協会、一般社団法人ダストコントロール協会の一員として、高岡古城公園の清掃や呉羽山公園の清掃ボランティアにも毎年参加しています。

2023年は、床の掃除の手間を軽減し、より本業に集中していただけるようにと、地元南砺市の保育園を中心に、Bona スプレーモップを100本寄贈しました。



北日本新聞
2023年12月26日掲載

は「保育園にもなり、大変ありがたい」と感謝した。



私たちが取り組む SDGs ゴールと具体的目標

1. 美しいフロアでサステナブルな未来を実現



Bona のフロアソリューションは、人々の健康や環境に配慮し、資源利用効率を向上させる環境配慮型のフロアソリューションです。私たちは、Bona 製品を活用したソリューションを通して、フロアから環境問題にアプローチし、その解決に取り組んでいます。

<具体的な数値目標と取り組み>

・地球 200 周分の CO₂ 削減

床の張り替えと比較して、大幅な CO₂ 排出量の削減ができるフロアリノベーションを様々な場面で周知する。
フロアリノベーションの普及に努め、ステークホルダーの意識の変革を促す。

・南砺市全世帯数分のエネルギー削減

床の張り替えと比較して 90%以上の省エネ効果のあるフロアリノベーションの普及に努め、エネルギー効率を改善する。

・定期清掃業務の 50% をはく離廃液が発生しない Bona レジリエントシステムに切り替える

Bona レジリエントソリューションの日本市場への普及に努め、有害化学物質を大量に含むはく離廃液の発生を抑制し、海洋汚染の改善と生態系の保護に貢献する。



2. サステナビリティを基軸としたパートナーシップを推進



私たちが掲げたゴールの達成に、ステークホルダーとのパートナーシップは不可欠です。よりよい協業関係の構築のために、私たちは積極的に高度な人材の育成に取り組みます。

<具体的な数値目標と取り組み>

- ・ Bona 認定クラフトマンネットワークを全国 20 社に拡大
専門的なトレーニングを継続的に提供し、高い職業スキルを備えた人材を育成する。
サプライチェーン全体を通じて、サステナビリティを基軸としたパートナーシップを推進する。



3. 人々の暮らしに幸せを



環境だけでなく、人々の健康にも配慮し、素材にやさしく、かんたんにキレイを実現できる。

Bona にはそんなすばらしい製品が揃っています。

よりよい暮らしを実現し、人々に幸せをもたらすために、私たちは、サステナブルな製品の普及に努めます。

<具体的な数値目標と取り組み>

- ・ Bona リテール製品のオンライン販売を 1 億円に
環境にも人々の健康にも配慮した製品とソリューションの情報を積極的に発信・普及させることで、持続可能な社会に向けての意識を向上させる。



4. 地域の活性化と人々の社会的安定に貢献



私たちが本社を置く富山県南砺市は、全国平均よりも高齢化率の高い自治体です。

高齢者を含めたあらゆる人たちが暮らしやすい街づくりのために、多様な人材の雇用に努めています。

私たちは、小さな歩みを重ねることで、地域の活性化に貢献できると信じています。

<具体的な取り組み>

- ・ あらゆる立場の人たちに雇用を創出する
誰もが安心して生き活きと働ける労働環境を実現し、地域の雇用を創出することで、地域の貧困解消に貢献する。



本社 〒939-1701 富山県南砺市遊部 870 TEL: (0763)52-4069 FAX: (0763)52-4038



Bona ショールーム 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-16-1 KCビル11F TEL: (045)507-8681 FAX: (045)507-8682